

71. 「子どもを育てる夫婦の関係について」

2017.1.1 遠藤清賢

子育ては技術ではなく、その技術をどのような心で実践できるかが重要なのです。昔から言われていますが、子育てにおいて夫婦関係が重要であり特に大切なことは自分のパートナーとの愛情関係がどのようになっているのかが、子育てに大きな影響を及ぼすのです。

良い関係性とは、夫婦であることの関わりを大切にすることです。夫婦間の愛情が家族の中で最も大切な関係性であるということです。その関係性とは、行動として何かを協力する、たとえばお父さんがおむつ交換や、食事の世話をするという、何かを相手にしてあげることより、お互いの心を共有し、共感することが大切で、その思いによって行動することでより良い関係性が形成されます。お互いの思いや気持ちを受け入れることが大切で、気軽に話し合えること、相談し合えること、そして支え合うことができることが重要です。相手に求めるのではなく、相手の為に行動したいという思いと実際の行動力をお互いが持っていることです。また、料理をおいしく味わうことができる、自分のために作られた料理をおいしく頂くことができる関係性も大切です。同じ方向に向かって進むというより、目指す方向は違っていても、お互いの方向性を尊重し支え合う関係性が大切なのです。お互いがこの関係性の中で生活できるなら、子育ては自然と上手くできると思います。子どもに対する愛情は自分のパートナーの次の愛情で充分なのだそうです。良い夫婦の関係ができていれば、自分のパートナーと同様の愛情を子どもに注ぐことができるのです。お父さん、お母さんの姿を見て子どもは成長します。人間としてどのように生きるのかは親の姿によって学ぶのです。人間の生きる基本は夫婦の愛情関係にあることを、お父さん、お母さんたちは大切に受け止めて頂きたいと思います。子どもはご夫婦の愛情によって誕生したのです。この事実を大切に生きて欲しいと思います。

ただし、誤解しないで欲しいのは、「このような夫婦関係が無ければ良い子育ては出来ない」ということではありません。夫婦関係が良くなくても、事情があり離婚されたとしても、しっかりと良い子育てをされている方々はたくさんいます。今回の話はご夫婦で子育てをなさっている方たちについてその関係性についてのお話ですので、子育ては夫婦がそろって良い関係性が無ければできないということではないのです。



相生汁 (5人前) 《材料》

さつま芋120g、玉ねぎ40g
人参30g、ごぼう30g、
ベーコン30g、しらたき30g、
豆腐100g、みそ：大さじ15
牛乳100cc、ねぎ30g

《作り方》

1. さつま芋は厚め、人参は薄いいちょう切りにし、その他の材料も食べやすく切る。
2. 鍋にベーコンを入れて軽く炒め、玉ねぎ、人参、ごぼうも炒める。
3. 水 700cc、しらたきを加えて火にかけ煮立ったらさつま芋を加える。
4. 煮えたら味噌をとかしながら入れ、豆腐、長ねぎ、牛乳を加えて一煮立ちさせる。



奥州市江刺区男石1丁目3-5

社会福祉法人 江刺保育園 子育て支援事業

電話 0197-35-1522

ファックス 0197-35-1741

子育て広場「友遊広場」専用電話 090-7327-9686

Eメール esahoiku@pup.waiwai-net.ne.jp

ホームページ

<http://www.esashihoikuen.com/>